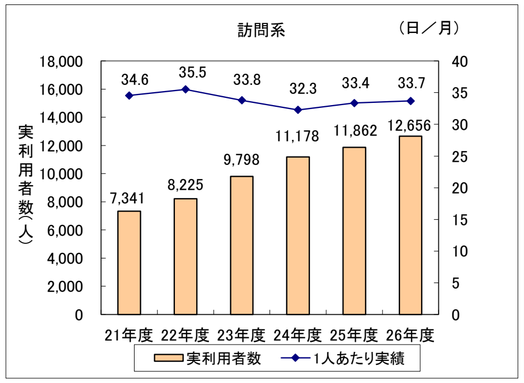
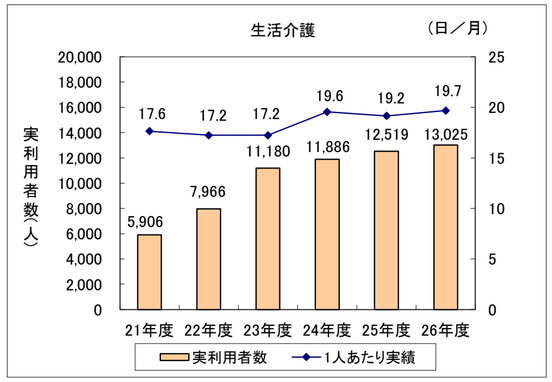
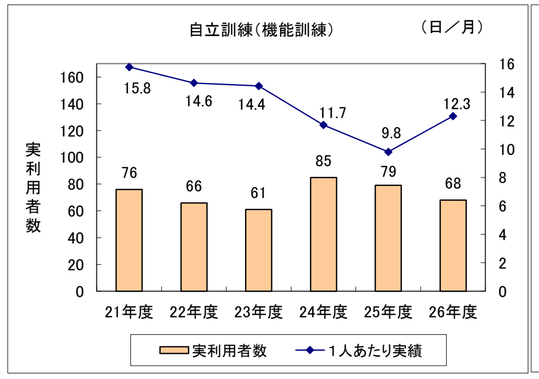
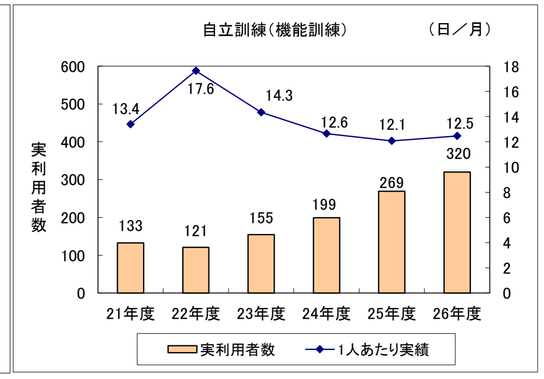
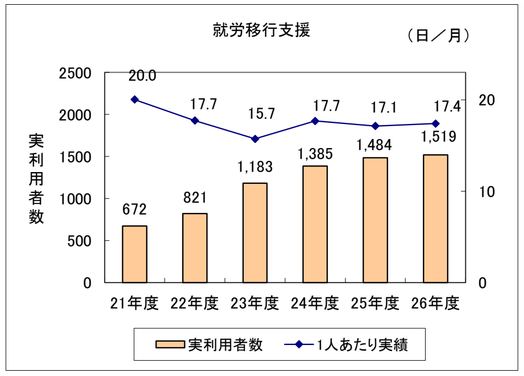
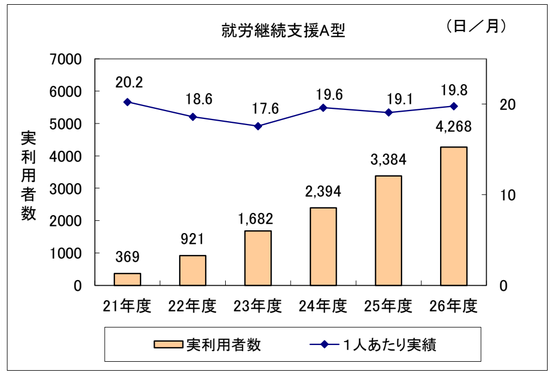
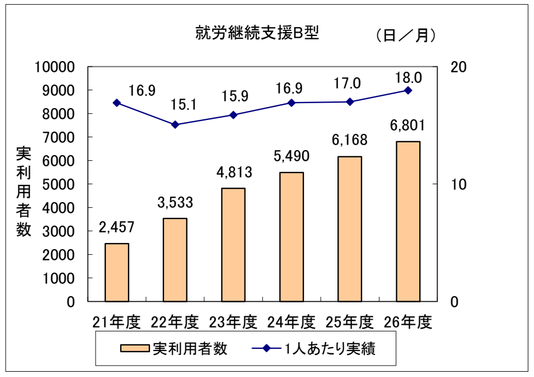
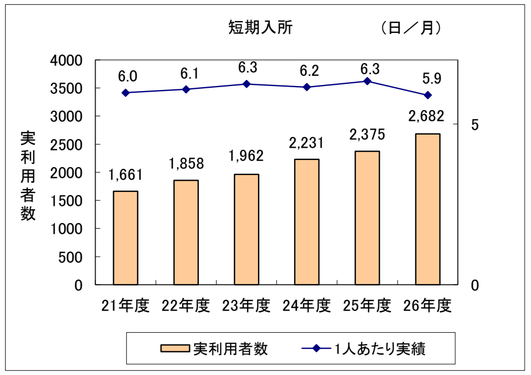
		名古屋市				合計							
		見込量①	27年3月利用実績②	②/①	圏域外事業所の利用割合（年間）	見込量①	27年3月利用実績②	②/①	圏域外事業所の利用割合（年間）	27年3月末定員	27年3月末定員×22日 ③	③/見込量①	稼働率 ②/定員×22日
1）訪問系サービス	総利用時間数	296,000	302,433	102.2%	3.9%	420,927	426,912	101.4%					
	居宅介護		137,015		3.4%		234,878						
	重度訪問介護		136,115		5.0%		153,578						
	同行援護		14,172		1.0%		19,542						
	行動援護		14,729		0.2%		18,512						
	重度障害者等包括支援		402		0.0%		402						
2）日中活動系サービス	生活介護	76,500	82,307	107.6%	1.2%	257,496	256,324	99.5%		13,522	297,484	115.5%	86.2%
	自立訓練（機能訓練）	600	495	82.5%	9.3%	1,604	837	52.2%		40	880	54.9%	95.1%
	自立訓練（生活訓練）	1,200	1,829	152.4%	1.8%	4,296	3,991	92.9%		356	7,832	182.3%	51.0%
	就労移行支援	7,740	9,663	124.8%	4.1%	34,480	26,432	76.7%		1,634	35,948	104.3%	73.5%
	就労継続支援（Ａ型）	12,240	33,797	276.1%	5.8%	35,838	84,350	235.4%		4,242	93,324	260.4%	90.4%
	就労継続支援（Ｂ型）	23,940	33,481	139.9%	9.1%	99,383	122,265	123.0%		6,995	153,890	154.8%	79.4%
	短期入所	4,800	5,675	118.2%	17.1%	14,480	15,811	109.2%					
	療養介護	160	160	100.0%	63.3%	458	558	121.8%					
3）居住系サービス	グループホーム	1,470	1,377	93.7%	16.0%	3,666	3,587	97.8%		3,653		99.6%	98.2%
	施設入所支援	1,220	1,173	96.1%	49.5%	4,178	4,175	99.9%		4,150		99.3%	100.6%
4）相談支援	計画相談支援	2,900	2,251	77.6%	4.4%	7,559	6,506	86.1%					

※　名古屋市については、訪問系サービスの見込量を一括で算出

≪現状・分析≫

○各圏域別で利用実績や圏域外利用率を見ると、**尾張中部圏域、尾張東部圏域は、各障害福祉サービスの圏域外での利用が多く**、逆に、**尾張西部圏域、東三河南部圏域は、圏域内での利用が多い**ことが分かる。
○地域生活移行後の中心的な住まいの場となるグループホームについては、尾張中部圏域等、圏域外利用が非常に高い圏域において、特に整備を促進していく必要がある。
○人口密度が低い東三河北部圏域においては、他の圏域と比較すると、訪問系サービスの利用実績が低いことが分かる。
○各サービスの圏域別の利用状況等を見ると、訪問系サービスについては、見込量に対する平成27年3月利用実績の比率は、西三河北部圏域で78.6%と低くなっているほかは、100%前後となっている。また、圏域外事業所の利用割合は、尾張中部圏域の60.6%が最も高く、次いで海部圏域の36.5%、尾張東部圏域の35.3%となっている。
○日中活動系サービスについては、見込量に対する平成27年3月利用実績の比率は、各圏域ともほぼ順調に実績を伸ばしているが、一部、短期入所において、尾張中部圏域で66.7%と最も低く、次いで尾張北部圏域の77.7%、知多圏域の92.6%となっているものの、他の圏域では100%を上回っている。
○居住系サービスについては、見込量に対する平成27年3月利用実績の比率は、ほぼ100%を上回っているが、一部、グループホームにおいては、尾張東部圏域が76.3%、西三河北部圏域が83.2%、東三河北部圏域が86.4%と低くなっている。
○相談支援については、見込量に対する平成27年3月利用実績の比率は、目標を大きく上回る圏域と、尾張北部圏域の16.9%、知多半島圏域の72.3%、西三河北部圏域の52.5%、西三河南部東圏域の59.6%の目標を下回る圏域があるなど、両極化している。

＜参考＞実利用者数と１人１カ月あたりの利用実績の推移（H21～H26年度）

○訪問系サービス及び日中活動系サービス（療養介護を除く）について、実利用者（棒グラフ）と、１人1カ月あたりの利用実績（折れ線グラフ）を算出。